

実践記録

学校 / 学年	中学校/1年	
教科等: 単元名題	技術・家庭科 : 携帯電話・PCの利用とルール	
キーワード	迷惑メールへの対処	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への智慧 ☐ 情報セキュリティー ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d 4 : 危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する
	中目標項目番号 中目標項目内容	d 4-2 : トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室 () ☐ その他 ()	
学習の目標	携帯電話やPCでメールをやり取りするときの問題点と正しい使用方法を理解する。	
使用教材	教材名	BlackJumboDog (フリーソフト)
	製作者	SapporoWorks、SIN 氏
	入手先 (URL 等)	http://www.spw02.sakura.ne.jp/spw/

○展開案

	学習活動	指導・評価
導入	○事前に行った携帯電話に関するアンケートから、使用時に困ってしまったことについて具体的に発表させる。	○自分に経験がないときは、検索エンジンを活用して調べる。
展開	○BlackJumboDog を使い、PC 教室内の教師用 PC 内にメールサーバーを構築し、生徒用 PC に、迷惑メール、チェーンメール、誹謗中傷メールを送り生徒に疑似体験をさせる。 ○迷惑メール、チェーンメール、誹謗中傷メール等をもらった時にどのように対処すればよいのか考える。	○自分ならどのような反応をするか実際にやってみる。 ○生徒のとった反応について発表させる。 ○生徒のとった反応の問題点について考える。 ○重大な問題が引き起こされていることを理解する。 ○どのように利用することが大切か考える。 ・メールの具体例 ・もらったときの対応方法 ・もらわないための方法
終わり	○迷惑メール、チェーンメール、誹謗中傷メールへの対処方法をまとめる。	○生徒の認識 (判断) の変化を確認する。

○授業の成果

- ・疑似体験を通して、もらったときにどのような気持ちになるのか、どのような対応をすればよいのか等について、当事者意識を持って具体的に理解を深めることができた。

○指導のポイント・留意点

- ・パソコンや携帯を使用するということであるが、本質は判断力の問題である。公共の精神や規範意識を醸成していくという視点に立って指導をすることが大切である。
- ・迷惑メールを送るという反社会的な行動をあえて学習として行うので、学級の実態や生徒の心情に配慮して慎重に行う必要がある。